# (19)日 (19) 日 (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-47161 (P2001 - 47161A)

(43) 公開日 平成13年2月20日(2001.2.20)

(51) Int. CL<sup>3</sup>

抵別紀号

F I

5-73-17(参考)

B 2 1 D 39/20

B 2 1 D 39, 20

審査請求 未請求 請求項の数7 〇L (全 4 頁)

(21)出顯番号

特顯平11-228876

(71)出願人 000003713

大同特殊網株式会社

(22)出贖日

平成11年8月12日(1999.8.12)

愛知県名古屋市中区第一丁自日番18号

(72)発明者 冷水 孝夫

愛知県名古屋市天白区表山二丁目311番地

八事サンハイツ501

(72)発明者 堀尾 浩次

爱知県東海市加木屋町南鹿持18番地

(72)発明者 鬼頭 一成

愛知県名吉屋市暴区古鳴海2-38

(74)代理人 100070161

弁理士 須賀 総夫

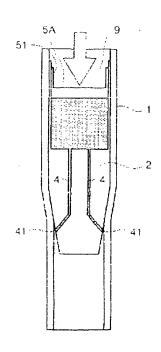
最終真に続く

### (54) 【発明の名称】 金属管の拡管方法および拡管工具

#### 研制 【曹操】

【課題】 家居曾 / [1] / [2] ([潘自禮舞型/)献管工具 3、1、公司为,张明(4)流体、1、2、所力を3、扩、前進 させらてとにより管が4年後を拡大することがらなる拡管 技術によって、場合がよったほうには比した及ぶ異さら金属 管「初 等を可能にすることとは、よど物管工具を提供する

【経済目時】「祝福に調査制してレストラーを有し、こ 5.路峰まで、タン第3人 絶かて前部のそっち値に関わる ス 農業者の学習。 E. で読げるとともは、議体が経りを 受けて関告納でいませ、沈治剛に比える運力低速手段 さい。こので、「と説」で、彼常工具を復興し、物質 を受けると病に管力や進せて農港町・ペーを連続能化する 功」で共福しておお待った。ところ創建させら



BEST AVAILABLE COPY

はいに りを受けている 2 内内の間滑削にほどら手段を設け、 哲学では、2)で前連に伴って間滑削(8)を転寄せて、2音・2)の内盤に供解するように構成したことを 特別、する

(・・)中計 淵澤利の基管 (1)大綱日本まりズル・4 (・) 財管 (具・2・)デート補上の位置は、図2に乗 したような、金属管と板管工具と対接触する菌前のあた つの適切に多って、この位置において潤滑剤が吐出され の12 により、封属管の向量への潤滑剤が確実な適用が 所能により、技管作業の用滑をが保証される。

(ロ・1 ロ) 流体の圧力を受けてマンク内の間滑削に低 、ルテ力伝達手段の一個は、図しに示したような、ク: ツ・児力流体に持する面に設けた、落とし蓋形状を有 し、よう開発が立立た上がも円高地の部分(ライナがき 、つ内型に高管して上下することのできる有底高批体 、テストである。製作および使用の容易さの点で、この 目的にとくに好趣である。

(ロコイエ) 肝力伝達事験の別の側は、上記した板の円 関制、部分を、配合に対すように、板の周縁に設けたシール・フェーに替えた柄、FF) である。この構造を採用するとさは、板が値が低いよいに、適宜のガイド手段を誇っるとよい。

【10.12】されに別の傾は、圧力促進手段として、閏 10.15でよった。ことない低力流体に接する値を置き 1-2間のでイヤンラムできた。を使用するものである。これでイヤンラムは、ゴス、ブラスチークなどで製造することができる。

(ロットと) 本発明の構造工具の変更度様は、図されます。 ウェーはお砂方に関ロして射方向に運びる水の煙管。 「全談け、その充端を、潤滑剤特質の関ロ部より 語うとは直し接管する主管の内壁に向かって洗浄水を噴むするためのでのファインともで開口させたものであ

## [ - 1 -]

【記載の規】を発明により、使用は著しく困難ないしたが近くを、た其尺のの端等を運動的に拡張する作業 、一元的で同種である。これでなった。従って水範疇は だ。は、他立により発展を増加力を与ことがとくに観まれて、便一たとはも何能した法律、カス井で相いる各種を 一つ、程度に適明したとき、その過義を大きい。その ま、一定を基一の部には、プロ事業、各種化学工業を だった。イフラインでできていい野に水範疇を適開して にかできる。

[1] 图: 福西南部[]

《1971》 (日本教術 2017年開催の技術作業を示す。管 1972年早での編集所削削

(1)2) も短期による金属管の映管作業の一角を示

3 この態様によれば、拡管に先だって管内壁を清浄に することができるから、異物が付着していた場合に拡管 上具の進行に伴って走りるキスを、本然に防ぐことができる。

### [0014]

【実施例】高圧記管用炭素網管「STS410」(4) SG5455、外径139、8mm、肉厚6、6mm、 長き6m)を20本、アーク溶接によりつなぎ合わせて、全長120mとしたものを、5本用意した。これらの展尺の調管を、それぞは関)ないも図5に示した構造の拡管工具(いずれも拡管率が20%となるように設計・発作したもの)を使用して拡管した。

【①①15】 潤滑剤としては、グリースに三硫化モリブデン粉末を、混合物の65重量にを占めるように混練したものを使用した。拡管工具の表面にも、同し調滑剤を連布した。比較のため、促来技術(図1の拡管工具)による実験も行なった。この場合は、溶持に先立って、各調管の内面に両端がの500mmの長さを残して潤滑剤を使布しておいた。

【0016】上記の長尺細管を固定し、その一端に拡管 上具を油産ビストンで押し込んでから密閉し、密閉室間 にホンフで水を圧入することにより核管工具を前進さ せ、速管を行なった。その間、ホンコで圧入した水の圧 力を測定した。比較例は、核管の途中で工具が停止した か、たお水の圧力を高めていったところ、溶枠歯所の手 前の母材部分で映断してしまった。

【110 1 7 】 核管後、溶接部分の中程で判断し、乗さが 5 mの管1 9 をにかけた。アムスラ式万能試験機(2 0 () 1-2 ) にかけて引張試験を行ない、破断が生じる箇所 が高接部であるか母付であるかを調べた。その結果を、 水の圧力とともに、下の表にまとめて示す。

#### [0018]

[7]	) 3	34	図5
300	3.2 0	2.9.6	250
230	230	230	210
pr 19	19 19	19 19	19 19

カー国1に対応する管と拡管工具との縦断面図

【図3】 本発明による旅營工具の別の倒を示す。図立 と時候が羅斯面図

【図4】 本発明による核管工具のさらに別の例を示 す。図2:同様の編新画図

【関系】 本発明による位置工具の心力を別の例を示 す、図22同様の編版確認

【诗号小説明】

- 1 255
- 2 抗管工具
- 3 間流剤2,72.2

二 湖湾別27季管

41 間滑削。

フィスル

5.5。有底面故障。压力低速手段。

51 円筒法

# **BEST AVAILABLE COPY**

#### # EP0000 / SP0

- PN JP2001047161 A 20010220
- PD 2001-02-20
- PR JP19990228876 19990812
- OPD-1999-08-12
- TI TUBE EXPANDING METHOD OF METAL TUBE AND TUBE EXPANDING TOOL
- IN INAGAKI SHIGEYUKI;KITO KAZUNARI;HIYAMIZU TAKAO;HORIO KOJI;YAMADA RYUZO
- PA DAIDO STEEL CO LTD
- EC E21B43/10F: E21B43/10F1
- IC B21D39/20

€-WPI+DERWENT

- Metallic tube expansion method for oil wells, involves supplying lubricant through tube before expansion by expanding tool
- PR JP19990228876 19990812
- PN JP2001047161 A 20010220 DW200126 B21D39/20 004pp
- PA (DAIZ ) DAIDO TOKUSHUKO KK
- IC B21D39/20
- AB JP2001047161 NOVELTY The method involves supplying the lubricant through the metallic tube (1), before expansion by the expansion tool (2).
  - DETAILED DESCRIPTION The common ball type expansion tool (2) is inserted into the metallic tube (1). The internal diameter of the tube is expanded by the pressure of hydrolyic fluid from the rear side of the tool. An INDEPENDENT CLAIM is also included for tube widening tool.
  - USE For casing tube, telescopic tube, coiled tubes in oil well, gas well, refinery.
  - ADVANTAGE The expansion work is executed smoothly and continuously.
  - DESCRIPTION OF DRAWING(S) The figure shows the sectional elevation of tube expansion tool.
  - Metallic tube 1
  - Expansion tool 2
  - (Dwg.2/5)
- OPD-1999-08-12
- AN 2001-252189 [26]

© PAJ I JPC

- PN JP2001047161 A 20010220
- PD 2001-02-20
- AP JP19990228876 19990812
- IN HIYAMIZU TAKAOHORIO KOJI;KITO KAZUNARIJNAGAKI SHIGEYUKIYAMADA RYUZO
- PA DAIDO STEEL CO LTD
- TI TUBE EXPANDING METHOD OF METAL TUBE AND TUBE EXPANDING TOOL
- AB PROBLEM TO BE SOLVED: To expand a metal tube having a length of several-hundred meters or more in a tube expanding technology by which a bullet shaped tube expanding tool is inserted into the inside of the metal tube, a fluid pressure is applied from rear side and an inner diameter of the tube is expanded by advancing the tool.
  - SOLUTION: A tube expanding tool, which has a lubricant tank at a rear part, is arranged with a lubricant conduit tube 4 extending from a bottom of the lubricant tank and opening to a tapered face at the front part and is arranged with a pressure transfer means to receive/transfer a fluid pressure to the lubricant in the lubricant tank, is used, the tube expanding tool is advanced while continuously and uniformly supplying the lubricant to a tube inner wall part immediately before tube expanding.
- E21D39/20